

小中一貫教育だより

今年度2回目の「小中一貫教育の日」

10月8日（水）、今年度2回目の「小中一貫教育の日」を大和田小学校にて行いました。今回も授業参観、分科会での話し合い、全体会での報告がありました。

授業では、子供たちのノートやワークシートに取り組む姿勢が見られました。また、先生方の専門性が垣間見える内容であったり、内容の工夫が見られたりするなど、参観した先生方も刺激を受けたようです。

分科会では、サミット分科会、生活指導分科会、特別支援分科会、学力向上分科会に分かれて前回に引き続き、話し合いを進めました。これまでの取組とともに、今後取り組む課題について、短い時間ではありましたが、話を深めることができました。

全体会では、各分科会からの報告があり、内容を共有しました。一中学区の教員が一斉に集う機会は少ないので、貴重な時間となりました。

次回は1月末に6年生が一中にて授業体験をします。中学生に向けての準備を進める時間です。また、教員は今年度の小中一貫教育の取組をまとめる場となります。

		
▲授業の様子	▲分科会（生活指導）の様子	▲全体会の様子

分科会での協議より～学力向上分科会からのお願い～

7月に行った1回目の学力向上分科会では、市学力調査の分析を行いました。各校共通していたのは、基礎学力の向上が課題であるということでした。そこで、今回、学力向上に向けての取組を話し合い、他の中学校区で取り組んでいる、定期考査前の期間に小学校も「家庭学習強化ウィーク」を設定し、家庭学習の推進をしてみようということになりました。小学校3校の現状を踏まえ、各校でアレンジを加え、無理なく取り組めるようにしていきます。各校からお知らせがありますが、ぜひ御協力ください。

【第一中学校の先生から】

第一中学校では、1年間に5回の定期考査（テスト）を行っています。中間考査は国語・社会・数学・理科・英語の5教科、期末考査は実技教科の音楽・美術・保健体育・技術家庭が加わり9教科です。テストで実力を発揮するには、授業に集中して取り組むだけではなく、計画的に家庭学習をすることが大切です。中学校ではテスト「週間」「前から部活動や委員会などの放課後の活動は原則停止になり、落ち着いて学習に取り組む期間となります。授業や家庭学習などの日々の努力を積み重ねることが、確実な学力向上につながります。

第3回は1月日（水）第一中学校にて行います。（各校6年生が中学校で授業体験をします。）